

令和元年度 平取ダム工程コスト検討委員会の  
審議結果について

国土交通省北海道開発局室蘭開発建設部では、沙流川総合開発事業（平取ダム）において、適切な事業執行及び総合的なコスト縮減策について専門家等の第三者からの意見・助言を頂くため「平取ダム工程コスト検討委員会」を下記のとおり開催しました。

1. 日 時 : 令和元年 11 月 7 日 (木) 13:00~14:00
2. 場 所 : 室蘭開発建設部二風谷ダム管理所 1F 会議室
3. 委 員 : 鈴木 克典 北星学園大学経済学部経営情報学科教授  
◎藤間 聡 室蘭工業大学名誉教授  
山下 弘市 元北海道土木技術会コンクリート研究委員会委員  
◎委員長(※50音順)

4. 審議内容

- (1) 事業の進捗状況
- (2) 令和元年度工事内容
- (3) コスト縮減への取り組み

【前回の意見に対する取組状況】

- ・プリンター等の周辺機器については、イニシャルコストとランニングコストを踏まえコスト縮減に努める。
- ・什器については、現事業所の物を活用するように配慮し、管理所移転時に新たに必要となるものについては、発注方法等に留意し、コスト縮減に努める。

【今年度以降のコスト縮減】

- ・堤体材料の廃棄岩の有効活用について
- ・工事間のクレーン共用
- ・新技術活用による放流警報局舎の見直しについて
- ・ダムコンにおける汎用品の見直し
- ・堤頂部における照明設備の見直し
- ・ライニング材の見直しについて
- ・融雪期放流設備調節ゲート室天井クレーンの見直し

5. 審議結果

○事業の概要

- ・実施箇所 北海道沙流郡平取町
- ・事業期間 昭和 48 年度～令和 3 年度
- ・総事業費 約 1,410 億円

## ○事業状況

- ・事業費ベースの進捗率は令和元年度末で約 82%。
- ・流域の社会情勢に大きな変化なし。
- ・令和元年度は本体工事等を実施。

## ○主な意見

- ・コスト縮減に対しても、新技術を取り入れる意識についても大変感銘を受ける。事業も終盤となり、コスト縮減についても出し尽くした感もあるかもしれないが、引き続き努力していただきたい。
- ・コスト縮減のために色々と新技術を取り入れたり、システム的な操作を取り入れたり等、事業費に対するコスト縮減の積極的な取り組みが伺える。残り 2 年の事業となるが、引き続き積極的に取り組んでいただきたい。